

於 二宮町教育委員会事務局

平成25年1月25日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 10時 00分
2. 閉会時間 12時 30分
3. 委員長名 飯塚 富美
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	飯塚 富美
2	○	小林 徳博
3	○	井出 真理子
4	○	蓮實 茂夫
5	○	内海 博治

6. 出席者氏名 教育次長 石井博司
 参事兼生涯学習課長 宮川康廣
 教育総務課長 松本幸生
 教育総務課指導班主幹 伊庭しげみ
 教育総務課指導班主幹 北川慶太
 教育総務課教育総務班主査 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主事 関田智恵子
7. 傍聴者 なし
8. 調製者 教育総務課教育総務班主事 関田智恵子

平成24年度1月教育委員会定例会会議録

日時：平成25年1月25日（金）

午前10時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（委員長）平成24年度1月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

井出委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）1月事務報告を行う。

（教育次長）1月政策会議報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （井出委員）いのちと献血俳句コンテストにおいて、県下1校のみ選出される団体賞を二宮西中学校が受賞したという報告があり、大変喜ばしいことだと思いました。担当教諭の取り組みをきっかけとして、その他の教職員や保護者等の支えにより、このような素晴らしい賞を受賞することができ、子どもたちにとっても大きな自信になったと思います。
- （教育総務課長）教育長表彰で表彰した文化財保護ポスターコンクール「わたしたちの文化財」部門は、県下で30名程度入賞したうちの3名が二宮町の中学生ということでしたので、こちらも素晴らしいことだと思っています。
- （井出委員）表彰式にいらっしゃっていた方から、どの程度素晴らしい賞なのか分からないというご意見をいただきましたので、表彰式の中でどのような賞かをお伝えしても良いと思います。
- （小林委員）各校の担当教諭の取り組みにより、このような結果を得られたのだと思いますが、二宮の特色となる素材はないものかと考えています。特色を出すということは大事なことで、二見利節という大きな宝があるので絵画に力を入れる、有名な俳句の研究会があるので俳句に力を入れるなど、二宮町全体として共有できるような柱があっても良いと思います。
- （教育総務課長）各校の教諭は授業だけでなく、それ以外での活動にもとても熱心です。先日も吾妻さんよさこいパレードに山西小学校が参加しましたし、学校の活動とは離れて町外の駅伝大会に教諭が子どもたちと一緒に参加したという話も聞いていますので、何かの形で広めていけたらと思っています。
- （小林委員）子どもたちにとっては色々な形で活躍できる選択肢があるということも良いことだと思います。
- （蓮實委員）施設を与えるだけでなく、子どもたちから触れられる機会があることが大事だと思います。子どもたちから触れる機会があり、多くの子どもが興味を持つようになるとその活

動が盛んになり、二宮町の特色を生み出すことに繋がるのではないかと思います。

- （小林委員）俳句等は学習としてあるので、学習の延長として取り入れても良いと思います。
- （蓮實委員）昔の合唱コンクールは教諭がピアノを弾いていましたが、現在は生徒自身が弾いており、子どものころから触れる機会があることの大切さを感じます。
- （委員長）各校教諭が授業以外の場でも子どもたちの自信に繋がるような活動をしていただいていることに感謝します。

— 付議事項 —

議案第12号 平成25年度二宮町教育委員会基本方針（案）について

（参事兼生涯学習課長・教育総務課長）今年度の教育委員会方針に沿って成果と課題を振り返りつつ、平成25年度二宮町教育委員会基本方針（案）について説明。

- （井出委員）25年度から始まる新総合計画の中では「子育て・子育ち」が示されていますが、その点についてはどちらに盛り込まれていますか。
- （教育長）全体の中でニュアンスとして盛り込んでいます。教育委員会基本方針として「教育の町 二宮」を大きく示すには、もう少し力をつける必要があると思っています。
- （小林委員）大きな何かをやることではなく、子どもたちが安心して学校や地域で生活が送れることが教育の特色だと思います。安定した人間関係が築けていて、子どもたちが目を輝かせながら学校へ通うことが出来るということが教育だと思いますので、そのような活動を地道に行っていくことを二宮の教育の特色としても良いかと思っています。
- （教育長）そちらについては、25年度も力を入れたいと考えている「コミュニケーション能力の育成」や「生命の尊重」「郷土愛の育成」に含めています。また、児童・生徒指導として、教育相談等の充実に加え、声かけ運動の実施を盛り込みたいと考えています。
- （小林委員）声かけ運動の実施を盛り込むことにより、具体的な施策が見えてくるので良いと思います。「かながわ学びづくり推進地域事業」は二宮町全体が地区として引き受けるのですか。
- （教育総務課指導班主幹）25年度と26年度の2カ年にわたり二宮町全体で引き受けます。コミュニケーション能力の育成を目標に、考える力を育てる質の高い授業づくりに向けて学校研究の充実を図ります。教育委員会としては、今まで学校独自で行っていた研究を学校間で共有し互いに高め合うことが出来るような体制作りを行います。
- （小林委員）一校だけの研究指定ではなく、二宮町全体として引き受けるということなので、この柱のもとに「教育の町 二宮」と示しても良いと思います。
- （井出委員）学校間で共有出来るような体制を作るというのは、部会を設置するということですか。
- （教育総務課指導班主幹）今までも校内研究担当者会を年に2回開催していましたが、活動状況の報告が主となっていました。25年度は二宮町学びづくり推進委員会を立ち上げ、年に5回開催し学校間で情報交換を行いたいと考えています。また「学びづくり通信」を発行し、各校の取り組み状況の周知を図ることを検討しています。
- （小林委員）「コミュニケーション能力の育成」「生命の尊重」「郷土愛の育成」に特に力を入れるとのことですが、各項目に散りばめられている表現方法となっていますので、これらを柱として強調できるような表現方法にした方が良いのではないかと感じました。

- （教育総務課指導班主幹）各項目の上位に記述することで反映させていましたが、ご意見を参考にさせていただきます。
- （蓮實委員）今回から「学校教育」と「生涯学習」という構成となっていますが、構成が変わった経緯を教えてください。また、前回までは社会教育の項目の中にあった図書館についてが今回より新たに項目立てされたのは、予算が伴う新たな事業が実施されるためなのでしょう。
- （教育長）二宮町では教育委員会の組織が学校教育と生涯学習の形になっているため、2本の柱にまとめ方を改善し、分かりやすくしました。
- （参事兼生涯学習課長）分かりやすいように図書館を新たに項目立てしましたが、従来からの内容的な変更はなく、新たに予算を伴う事業が実施されるということではありません。
- （井出委員）「にのみやの講」とは何ですか。
- （参事兼生涯学習課長）同一の信仰を持つ人々の繋がりについて、文化財保護員が地域のお年寄りの方の話を聞き取り、記録をまとめます。
- （小林委員）図書館の項目には小中学校との連携について記載があるにもかかわらず、学校教育の項目からは図書館との連携が読み取れませんが、実際に連携している事例があるかと思いますので、それを記載されたら良いのではないかと思います。図書館利用者カードを子どもたちへ配布すること等は行っていますか。
- （参事兼生涯学習課長）小学校2年生が図書館見学に来る際、希望者にお渡し出来るようにしています。
- （小林委員）放課後子ども教室検討委員会では、将来的にどのようなことを目指して話し合いをされているのですか。
- （参事兼生涯学習課長）国では、基本的に小学校で放課後子ども教室を行うというモデルを示していますが、現在二宮町での手法を模索しているところです。検討委員会からの最終的な答申時期は未定です。
- （教育長）国の通知には検討委員会を設置しなければならないとされており、放課後子ども教室を実施した後も検討を続けるよう示されています。
- （小林委員）設置に向けて検討を続けているということですね。放課後子ども教室を作る場合は、費用は町の負担となるのですか。
- （参事兼生涯学習課長）国・県の補助対象となっています。なお、「こどもゆうゆうスペース」は県に認めていただき、補助金をいただいています。
- （小林委員）ピアノマラソンコンサートはとても良い試みだと思いますが、初めての試みですか。
- （教育長）以前より実施しています。
- （蓮實委員）学校と町図書館の連携は図られているのでしょうか。また、中学校の図書館はメディアセンターとしての活用が進んでいないようだという意見があるようですが、学校に図書館は必要なのでしょうか。
- （参事兼生涯学習課長）学校と町図書館での情報交換は行っています。
- （教育総務課長）学校に図書館は必要で、国としても充実を図るような施策が以前より行われています。小学校では非常に活用率が高いのですが、中学校は部活動等もあるため活用状況が低いのではないかと思います。

(委員長) 議案第12号平成25年度二宮町教育委員会方針について、次回も継続審議としてよいか諮る。

委員全員賛成により継続審議とされる。

— 報告・協議事項 —

(1) 二宮町教育委員会職員旧姓使用取扱要綱の制定について

(教育総務課教育総務班主査) 二宮町教育委員会職員旧姓使用取扱要綱の制定について説明。

(2) 町立小中学校臨時休業について

(教育総務課教育総務班主査) 町立小中学校臨時休業について説明。

○ (井出委員) 学級閉鎖の基準を教えてください。

○ (教育総務課長) 新型インフルエンザが流行した際に基準が厳しくなりましたが、現在は在籍者数の20%以上の欠席を目安とし、状況に応じて学級閉鎖をしています。

(3) その他

(教育総務課長) 二宮町における体罰の状況・食物アレルギーへの対応状況・防災講演会について報告。

○ (井出委員) 体罰は子どもたちの人権を脅かすものですので、繰り返しの指導が必要だと思います。意識の問題ですので注意が必要かと思います。学校では取り組みを行っていただいていることですが、各種スポーツクラブ等での体罰の防止についても、何かの機会にご指導いただければと思います。

○ (小林委員) 学校と地域の防災組織の形成に向けても、何かの機会に声かけをしていただければと思います。

— 次回教育委員会予定 —

(教育総務課教育総務班主査) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

(委員長) 平成24年度1月定例教育委員会議を終了いたします。

12時30分 終了